

《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

宮崎県宮崎市立大淀小学校

1年 木村 隼輔

こどもタヌキのこうつうじこ

ちいさなタヌキが、たおれているのを、おじいちゃんのいえへむかうこうそくどうろでみました。おとうさんは、「タヌキのこどもが、ひとりでどうろにとびだしたのかもしれないね。きっと、おかあさんタヌキがさがしているよ。」といいました。ぼくは、おかあさんにあえなくなったこどもタヌキのきもちをかんがえました。そしたら、とてもかなしいきもちになりました。こどもタヌキは、ともだちタヌキとあそんでいて、くるまにきがつかなかったのだとおもいました。こどもタヌキは、てをあげることができません。うんてんしゅのひとは、こどもタヌキがちいさいから、きづかなかったのかもしれない。

ぼくも、しょうがっこうからかえるときにくるまにぶつかりそうになったことがあります。そのことを、いえにかえってからおかあさんにはなすと、すぐおこられました。おかあさんは「くるまにひかれてしんじゃったら、だれともおはなしできないし、がっこうにいくことも、あそぶこともできなくなるのよ。」といいました。きっと、おかあさんもぼくがくるまとぶつかることが、こわかったのだとおもいます。もし、ぼくがくるまにひかれて、おとうさんやおかあさん、おとうとたち、かぞくやしんせきのみんな、せんせい、おともだちにあえなくなったらとかんがえたら、こわくなって、ないてしまいました。

このまえ、ぼくは、ようちえんせいのおとうとといっしょに、そとをあるきました。おかあさんは、あかちゃんのおとうとをだっこしていました。ぼくは、ようちえんせいのおとうとがきゅうにどうろにとびだすかもしれないとしんばいになりました。だから、おとうとのでをつなぎました。ぼくは、おとうとに「あぶないからはしたらだめだよ。」といいました。ぼくは、もうかたほうのてをたかくあげて、うんてんしゅのひとにきづいてもらえるようにしました。おとうとたちがおおきくなったら、こどもタヌキのこうつうじこのはなしをして、こうつうあんぜんのことをおしえたいとおもいます。